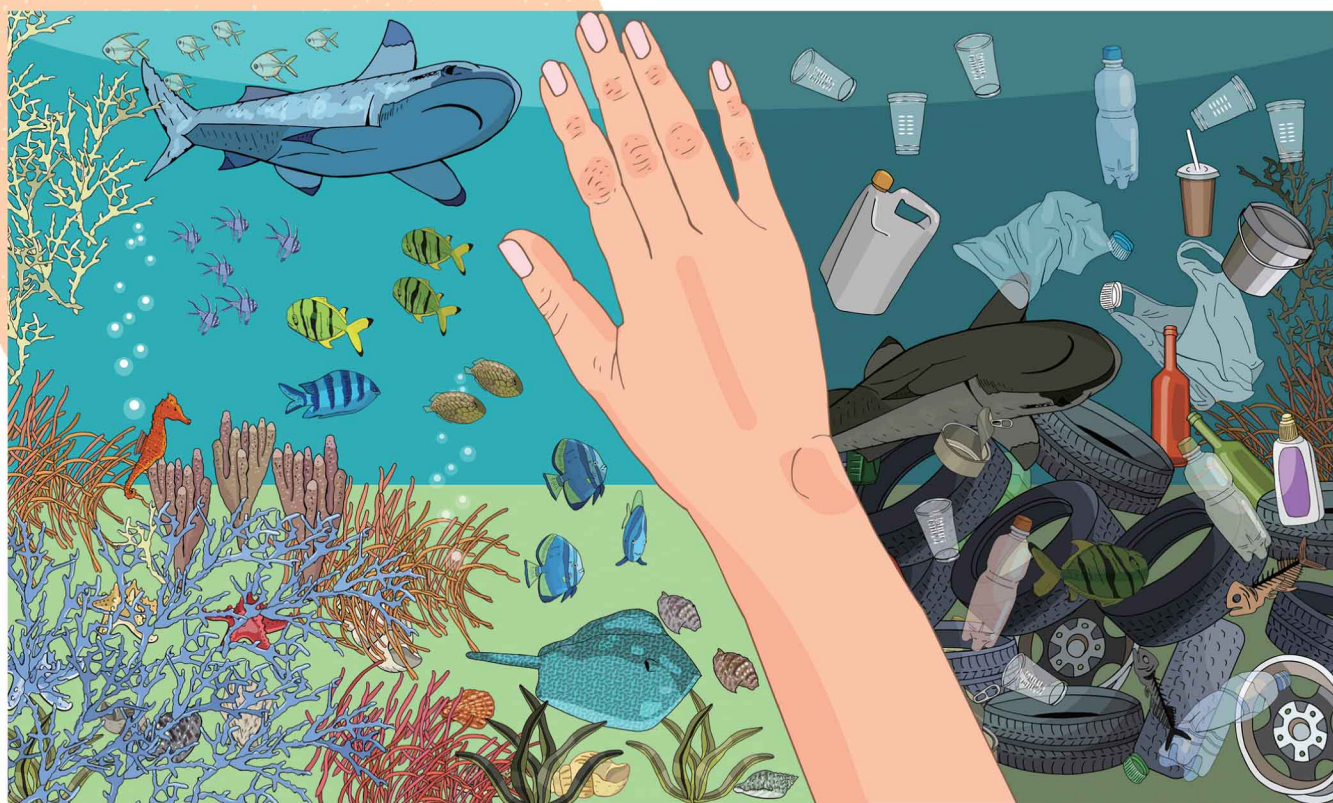


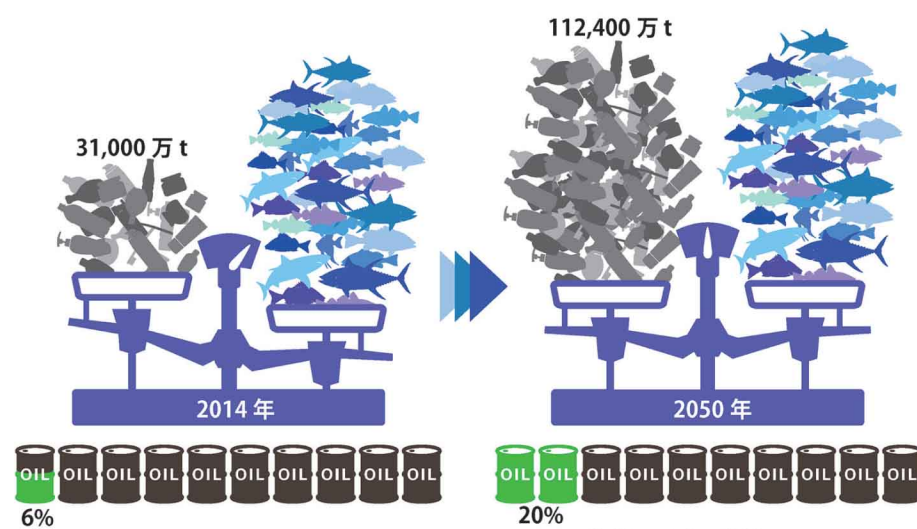
これからはリデュースの時代



★世界中にプラスチックごみが

プラスチックは何百年かけても自然にはなくなりません。粉々になり、見えなくなるほど小さくなっても、消えてなくなることはありません。

日本では、毎年 1000 万トンのプラスチックが生み出され、人口一人あたりでは、70 キロ以上のプラスチックを使っています。



2050 年には生産されるプラスチックの量は魚の量を上回り、消費する原油の 20% がプラスチック生産に使用されると予測される
(提供: ©Neufeld, L., et al (2016) / WWF ジャパン)

一部は自然の中に捨てられ、最終的に海へ流れ込み、その量は増え続ける一方です。

世界の海にはすでに 1 億 5000 万トンのプラスチックごみがあるとされていますが、さらに、毎年 800 万トンのプラスチックごみが海に流れ込んでいます。

そのせいで、2050 年には海に住む生物よりもプラスチックごみの量のほうが多くなると考えられているのです。

★リサイクルより、リデュースの時代へ

増え続けるプラスチックごみを減らすためには、どうしたらいいでしょう。

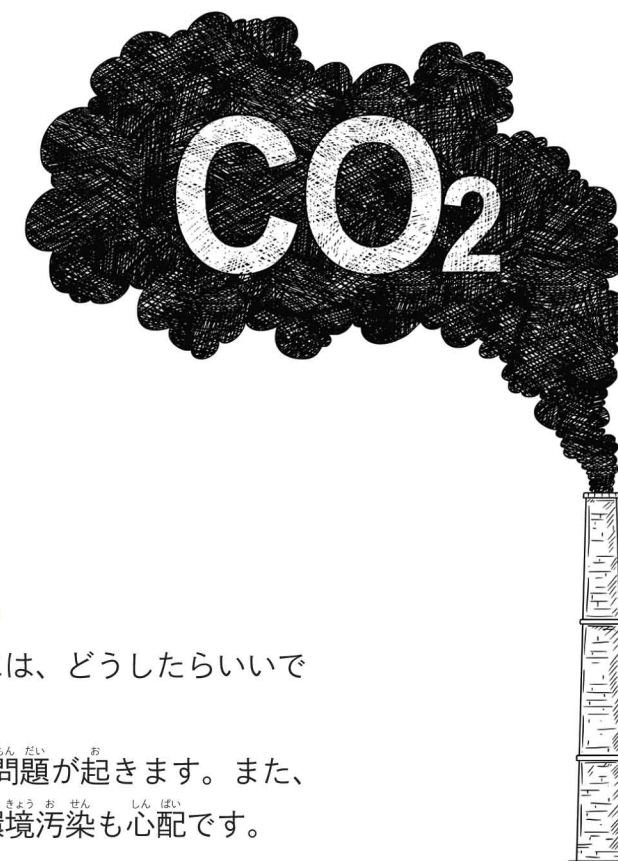
燃やせば二酸化炭素が発生し、地球温暖化の問題が起きます。また、埋め立てる場所はこれ以上増やせませんし、環境汚染も心配です。

リサイクルによって、新しいプラスチック製品や化学原料に再生させることも大切ですが、今までと同じようにどんどん使ってどんどん捨てていたのでは、プラスチックごみはますます増えていきます。

そこで、私たちが取り組むのは、ごみを少しでも増やさないことでしょう。

ごみを生かそうという考え方が「リサイクル」。ごみを減らそうとする考え方を「リデュース」といいます。

これからは、リサイクルより、リデュースの時代なのです。



ごみを減らす「R」は3つだけじゃない

★3Rから、たくさんのRへ

みなさんがよく耳にする3つの「R」は次の3つです。

Reduce (リデュース) …
ごみを減らす



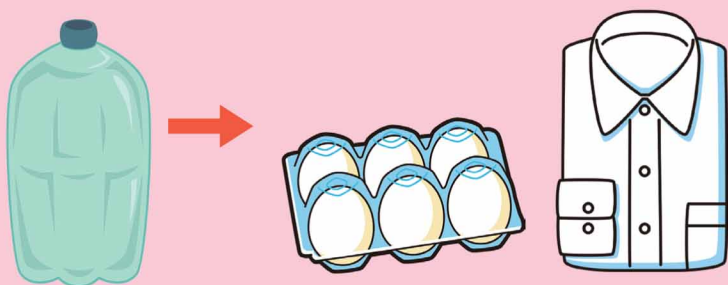
たとえば、ボトルの液体石鹸ではなく、
固形石鹸を使う。

Reuse (リユース) …
くりかえし使う



たとえば、自分が使わなくなった物を
捨てずに、必要な人にゆずる。

Recycle (リサイクル) …
ごみを再利用する



たとえば、資源に戻したペットボトルから、たまご
のケースやシャツが作られる。

でも、ごみを減らすためには、
もっといろいろな「R」があるの
を覚えておきましょう。



Refuse (リフューズ) …
ごみになるものを断る



たとえば、レジ袋を断ってマイバッグ
を使う。

Repair (リペア) …
修理して使う



こわれたら捨てるのではなく、直して
長く使う。

Rental (レンタル) …
借りて使う



たとえば、車を買うのではなく、必要
なときに借りて使う。

Rule (ルール) …
ルールを守る



ごみの分別のルールをきちんと守れ
ば、ごみを減らすことができる。

このほかにも、
Return (リターン) …買ったお店に引き取ってもらう
Reform (リフォーム) …形を変えて使い続ける
Rebuy (リバイ) …リサイクルされた物を買う
など、ごみを減らすための「R」はいろいろあります。

はじ わたし 今日から始めよう 私たちができること②



★修理して長く使う

「こわれたら捨てる」という生活から、「修理して使う」という生活に変えることで、ごみの量を減らせます。



★次々に新しいものを買わない

世の中には安くてもいいものがたくさん売られています。次から次へとほしくなりますが、ひとつのものを大切に長く使い続けることが大事です。

B A Z A A R



★不要になっても有効に活用する

自分は使わないけれど、ほかの誰かが使ってくれば捨てずにすみます。中古のものをもらったりあげたり、売ったり買ったりすることで、ごみを減らす大きな力になります。バザーやフリーマーケットを上手に利用しましょう。

★家の周り、近所の清掃をする

ごみは風や雨で川に運ばれ、最終的に海に流れ込みます。家の周りを掃除すると、海をきれいにすることにつながるのです。落ちているごみを見つけたら、きちんとごみ箱に捨てましょう。



★レジャーで出たごみは持ち帰る

この写真は、バーベキューをした人が残していったごみです。レジャーで出たごみは、自分たちで持ち帰るのが基本。ごみを放置するのは、絶対に許されないことです。

★川や海岸の清掃に参加する

川や海のそばに住んでいる人たちが、毎日ひとつずつごみを拾うだけで、驚くほど川や海はきれいになるはずです。



★そのほかにも、こんなことができます

- ・ごみの分別のルールを守る
- ・プラスチックごみについて、調べ、考えてみる
- ・プラスチックごみについて、家族や友だちに伝える、話し合う
- ・自分がどのくらいプラスチックごみを出しているか調べてみる
- ・家族や友だちにプラスチックごみを減らすように呼びかける
- ・プラスチックごみによる海洋汚染について調べてみる
- ・プラスチックごみを減らす目標を立てる
- ・プラスチックごみを減らすアイデアを考える

赤ちゃんからお年寄りまで、プラスチックを使わない人はいません。だからこそ、一人ひとりができることから始めるのが、とても大切です。

